日清戦争をめぐる神話　プロローグ　1

I　日清戦争への道

1　清日の出兵と外交交渉　6

アジア侵略と近代日本／壬午事変の処理／甲午農民戦争と日本／朝鮮政府の対応／日清の出兵模索／日本の先行出兵決定／参謀本部の出兵準備／慎重な清国政府／日本の強硬策／両国の出兵と行文知照／陸奥と強硬策／伊藤首相の方針／第一次輸送隊の到着／開戦への口実作り指示／イギリス・ロシアの干渉／ロシアの本格的干渉／第二次絶交書／清国政府の方針

2　七月二十三日戦争　30

内政改革問題と大鳥公使／朝鮮政府との交渉／大鳥公

使と大島旅団長／七月二十三日戦争／大本営への事前連絡／大鳥の栄転／七月二十三日の意味／藤村道生の慧眼／三局面

II 朝鮮の占領

1 豊島沖輸送船団襲撃戦 42

大本営の攻略作戦／聯合艦隊の編制／一九世紀の海軍／イングルス大佐の講義／清国陸軍増派の情報／清国海軍の洋式化／七月二十二日樺山伊東会談／聯合艦隊の出発／七月二十五日豊島沖海戦／山本権兵衛の書き加え／田保橋潔教授の研究／依拠した史料と推断／認められなかった研究／平泉の恐れ／聯合艦隊の報告電報／陸奥外相の説明／高橋教授と国際法学界／撃沈の問題性／軍令部の不安とイギリスの判断／海戦の経過／済遠の追及中止／済遠の追及中止の不可解／高陞号拿捕から撃沈へ

2 陸の緒戦—成歓の戦い— 74

日本軍の増派／陸軍省法官部と軍夫／大島混成旅団の作戦／牙山の清国軍／佳龍里の戦いから安城渡の戦い

へ／最初の軍国美談誕生

3 敵は誰か 94

宣戦布告の国際法／「敵国」の混乱／戦争開始日の検討／海軍省の異論提出

4 平壌の戦い 102

第五師団の増派／第一軍の編制と作戦／野津師団長／糧食の補給／清国軍の迎撃作戦／日本軍の配備／難問は補給／平壌攻略戦の開始／朔寧支隊の攻撃／元山支隊の攻撃／突然の降伏から敗走へ／平壌戦の再検討／清国軍の防衛戦／砲弾の問題／平壌の陥落

III 清国領への侵入

1 本格的海戦—黄海海戦— 128

海戦の準備から海戦へ／清国艦隊の士気／鱗次横陣と単縦陣／砲撃戦／「霊鷹」事件／欧米の批評

2 遼東半島の作戦 140

第二軍の編制／上陸地点／花園口上陸／金州城占領／旅順口へ向かう／旅順口攻略戦／旅順虐殺事件／世界

の報道

3 遼河平原の作戦 159

清国政府の防衛計画／第一軍の北進／安平河口の戦い／鴨緑江渡河／虎山攻撃／九連城は空っぽ／まずは補給／鳳凰城占領／鳳凰城の補給問題／大東溝占領／不安定な作戦計画／大孤山占領／変転する命令／第一軍司令部の作戦／大本営の構想／冬営と酷寒の陸戦／鳳凰城の立見旅団／草河嶺の戦い／賽馬集の戦い／岫巌城攻略戦／樊家台の戦闘／鳳凰城防衛戦／立見旅団司令部の提案／第五師団の冬営／第一軍軍司令官の更迭／大本営の変化／列強の干渉／冬営方針への批判／海城攻略作戦／襲う寒気／海城の防衛戦／缸瓦寨攻撃／凍傷者問題／海城をめぐる大本営と第三師団／蓋平占領／蓋平占領後／酷寒の海城防衛戦（第一回）／海城防衛戦（第二回）／新作戦をめぐる大本営と第一軍・第三師団／海城防衛戦（第三回）／海城防衛戦（第四回）／遼河平原の新作戦／第五師団の守備／鞍山站攻略戦―第五師団の前進／海城からの出撃―第三師団の戦闘／牛荘攻略戦／初めての市街戦／太平山の戦闘／営口の攻略戦／田庄台の攻略戦

4 威海衛作戦と北洋水師の潰滅 223
冬季作戦方針／神尾参謀の役割／伊藤首相の提案／第二軍司令部の準備／威海衛軍港沿岸部占領への輸送／大本営参謀の従軍／金州半島の部隊／山東半島に上陸／南岸諸砲台の占領／北岸の占領／艦隊ヲ撲滅／水雷艇隊夜襲作戦／丁汝昌提督の降伏／山東作戦軍の移動

Ⅳ 決戦準備・講和・台湾征服戦争

1 澎湖列島攻略作戦 244
台湾割譲の要求／澎湖列島上陸と攻略／直隷決戦の準備

2 講和の交渉と下関条約 250
清国の講和問題／伊藤、陸奥の講和構想／清国講和条件協議／講和交渉と妥結

3 三国干渉 258
フランスとロシアの動き／強気の陸奥／青木公使の急電／騎虎ノ勢／三国の申し入れ／御前会議へ／デニソンの役割／緊急の御前会議／歴史家渡辺幾治郎の批判